

家庭掲示用(地震関係の対応)

南海トラフ地震等の大規模地震における児童の安全対策について

1 大規模地震に関する情報(臨時)の発表があったとき

①登校中

- ・自宅に帰ります。ただし、学校が近い場合はそのまま登校します。
- ・登校した児童は、学校で待機し、保護者の方の来校を待ちます。

②在校時

- ・別紙2「児童の引き渡し方法」にもとづいて児童の引き渡しをします。保護者(緊急引受人)の迎えがあるまで、児童は学校で待機します。
※児童の引渡しの際は、徒歩または自転車での来校をお願いします。

③下校時

- ・自宅に帰ります。ただし、学校が近い場合は学校に引き返します。
学校に引き返した児童は、学校で待機させ、保護者の方の来校を待ちます。

④在宅中

- ・臨時休校となります。

⑤校外学習中

- ・出発前、解散後については、状況に応じ上記①～③の措置をとります。
出発後については情報を収集し、児童の安全確保を最優先して対応します。

2 大規模地震が在校時に発生した場合の避難行動

- ・別紙3「大規模地震発生時の避難行動」に基づいて避難行動を行います。
※津波被害の心配がある場合は、木田方面が待機場所となる場合もあります。

暴風警報発令時とは、対応が異なります。ご注意ください。



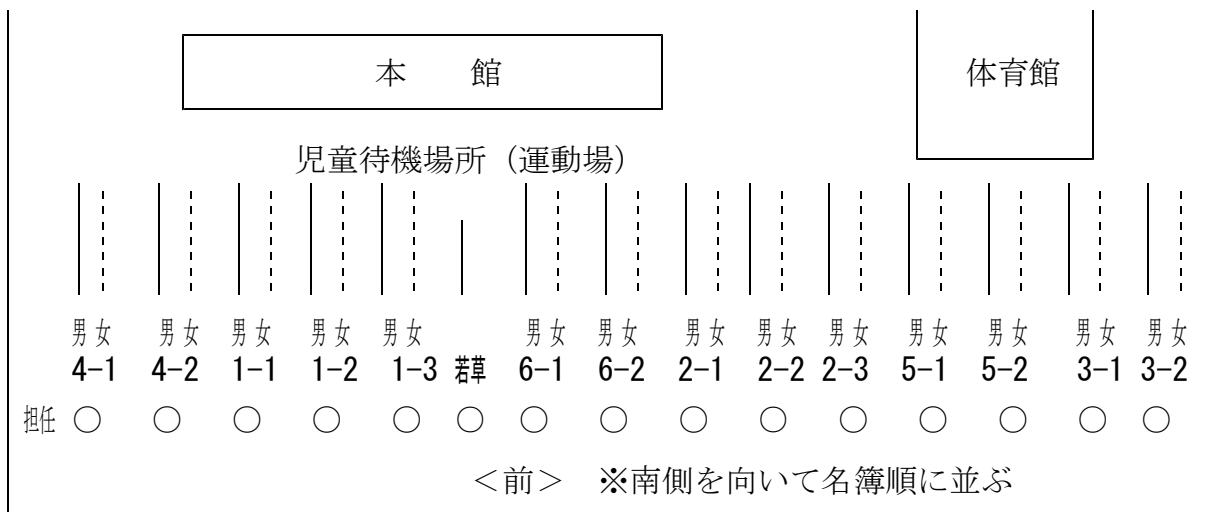
別紙2

児童の引き渡し方法

○児童は、学校または三次避難場所**別紙3** **裏面**（清水脇の市道）に待機させますので、保護者（緊急引受人）の方が迎えに来て、次の方法で児童を引き取ってください。
 ※お迎えにあたっては、徒歩または自転車でお願いいたします。自家用車でのお迎えは、ご遠慮ください。

児童引き渡しまでの手順

- 1 学校へ到着後、学級別に待機している児童の所へ行ってください。
 ※天候や状況等によって、体育館もしくは清水脇の市道（津波の心配がある場合）が待機場所となる場合があります。



- 2 保護者の方は児童と一緒に、児童の在籍学級待機場所に行き、「引き渡しカード」の「引き取り人」「続柄（関係）」「引き取り時刻」の3か所を記入してください。

引き取り人の方で記入してください。

【記入例】 <引き渡しカード>

引き渡し日付	→ ○○月△△日（◇）	引き渡し時刻	→ :
引き取り人	→ 東海 一郎	続柄（関係）	→ 父
児童名	→ 1年2組 氏名（東海 太郎）		

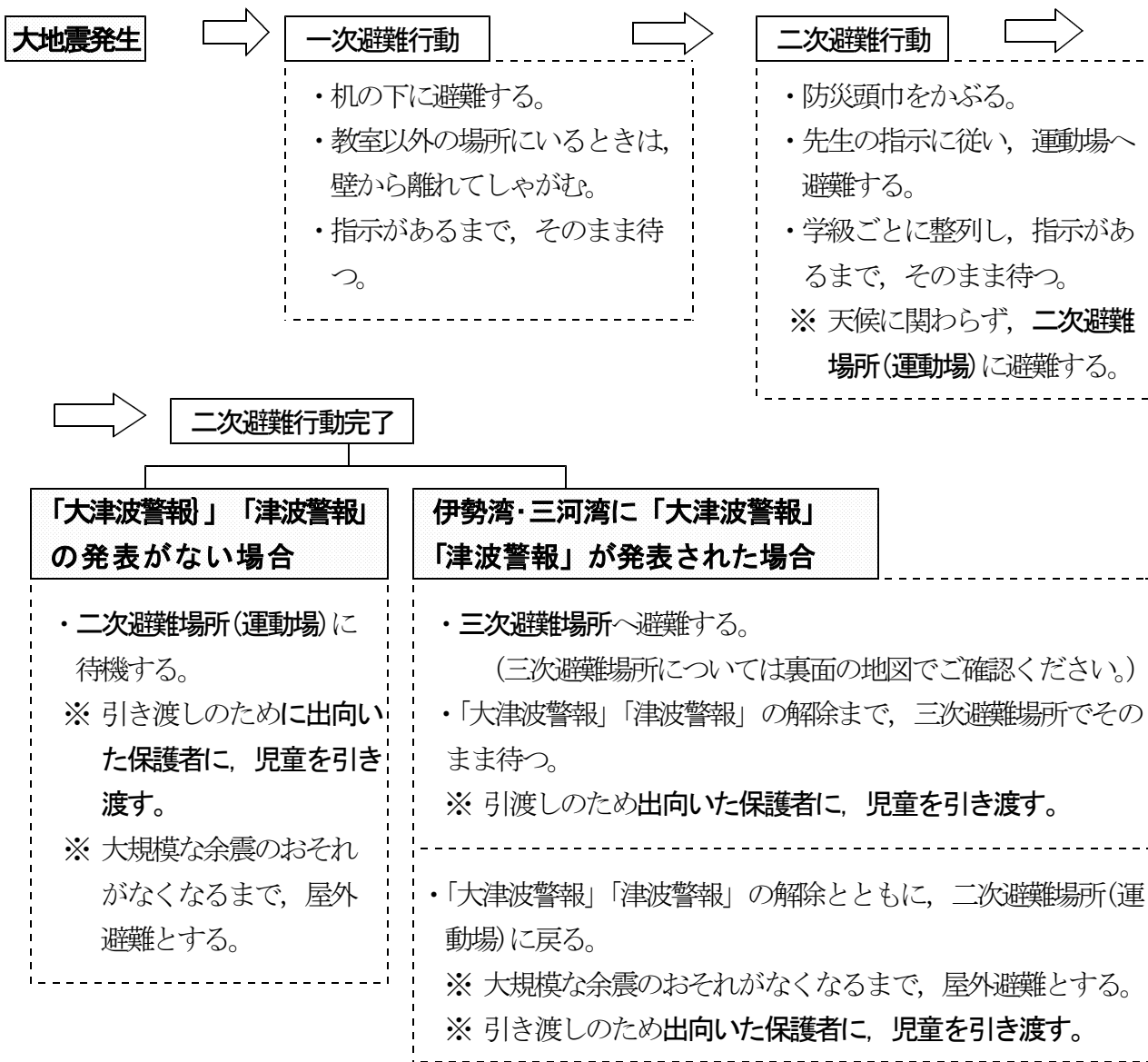
学校（児童）で記入を済ませておきます。

- 3 受付教師に「引き渡しカード」を提出し、確認を受けてください。
 - ・複数学級に児童が在籍する場合は、それぞれの学級の受付で同じ手続きをとってください。
 - ・児童一名につき、一枚の<引き渡しカード>を記入・提出してください。
- 4 児童と一緒に下校してください。

別紙 3

大規模地震発生時の避難行動

児童在校時に、校舎・通学路・家屋等に被害が生じるような大地震が発生して安全な下校が困難である場合、下記に示した流れに沿って保護者の方への引き渡しによる下校としますので、ご承知おきください。



- ・海溝型地震、内陸型地震の違いを問わず、災害の程度に応じて対応を判断します。
- ・災害発生時、市の勧告・指示等により、広域避難場所に指定されている本校に避難所が開設されます。上記行動内容は地震発生直後の当面の対応であり、避難所開設以降は市の指示に従います。
- ・本校校舎及び体育館の耐震化工事は完了しておりますが、大きな余震による二次災害の可能性を考え、一度校舎から避難したら、原則として当日は校舎に戻りません。
- ・本校の標高は3.4mで、大規模な地震発生の場合、大津波による被害の可能性があると考えます。

◎ 三次避難場所 清水脇の市道

標高10.1m 運動場より約1km 徒歩約15分

----- 避難経路



※ 津波の状況により、近隣のさらに高台へ移動することがあります。

※ 引渡しの際は、必ず徒歩でのお迎えをお願いいたします。